

放射性物質に係る新聞報道等について

スロバキアでの濃縮ウラン不正取引未遂事件

スロバキアが濃縮ウラン押収
【マドリッド電】スロバキア警察は二十九日、ハンガリー国境と隣接し、西側で濃縮ウランの売却を試みた三人を逮捕したと発表した。高濃縮ウランはテロリストの手に渡れば、放射性物質を走私散らす「汚い弾」を製造できる状態だったという。高濃縮ウランは富田県で濃度九八・六％、ウクライナ国境に近い場所では押収された。

平成19年11月30日(金)
日本経済新聞 夕刊 2面
(無断転載禁止)

カナダでの放射線物質の行方不明(記事概要)

カナダの新聞報道によると、ダーティボムの材料となる放射性物質の行方不明数が、記録的な数となっており、連邦政府の核物質の管理の有効性が懸念されている。

放射線源においては、2005年は12個、2006年は15個、2007年は26個が紛失及び盗取されている。また、放射性発生装置においては、2005年は5個、2006年は6個、2007年は14個が行方不明になっている。

その紛失及び盗取された放射性物質は、IAEAの放射線源のカテゴリ分類の4及び5に該当し、人体に対する健康が最も低いレベルとなっている。